



2004.11.30

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp
民主党愛知県総支部連合会
名古屋市東区泉1-12-34
セントラルアベニュー1223 9F
電話 052-951-7881



[第1回「東海州議会」を開催](#) / [部落解放愛知県共闘会議29回総会を開催](#) / [県連政策調査会が児童虐待防止に関する学習会を開催](#) / [民主党愛知県連・所属議員の活動報告](#) / [幹事会報告\(11月13日抜粋\)](#) / [インフォメーション](#) / [編集後記](#)

第1回「東海州議会」を開催



11月23日 祝日(火)名鉄グランドホテルにて民主党東海ブロック4県主催による「東海州議会」が開催された。東海州議会議員は党組織の東海ブロック自治体議員フォーラムに呼びかけ52名が参加した。(静岡・岐阜・愛知・三重県議会議員、名古屋市会議員)傍聴人は約70名が参加。

発起人代表として松山登議員(愛知県議会)が「市町村合併の推進により自治体の規模拡大がすすみ、基盤強化が求められている中、地域基盤の活性化や自立と共生社会を構築する

民主党が掲げる地方分権をすすめる意味で、道州制の実現に向けた制度整備等の検討を行うことに。また、その検討・議論の場として議会を発足させた」とあいさつを述べた。議長は近藤良三議員(愛知県議会)を選出し開会となった。

議事に入り、第1号議案として「2005年 愛・地球博」を海江田万里衆議院議員(党NC経済産業大臣)中村利雄事務総長(日本博覧会協会)が提案し、第2号議案「地方分権」を五十嵐文彦衆議院議員(党NC総務大臣)、直嶋正行参議院議員(党NC規制改革・産業再生担当大臣)が提案をした。

質問及び答弁に入り静岡県議会からは岡本護議員、岐阜県議会からは渡辺嘉山議員、三重県議会からは松田直久議員が質した。最後に愛知県議会から原田信夫議員が「万博について、地方公共団体の広域的なPRの取り組みと国全体とくに関東・関西対策は?、警備体制のあり方は?」などを質した。片桐清高議員は「地方分権について、国と地方のあるべき姿についての認識は?」「規制緩和、特殊法人改革に対する考え方と取り組みは?」などを質した。また関連質問として吉田伸五議員(名古屋市議会)は、「地方への税源移譲をしっかりと考

えて頂きたい」と述べた。

万博については中村利雄事務総長(日本博覧会協会)、海江田万里衆議院議員(党NC経済産業大臣)、地方分権については五十嵐文彦衆議院議員(党NC総務大臣)、規制緩和に関しては直嶋正行参議院議員(NC規制改革・産業再生担当大臣)から具体的かつ誠意ある答弁をいただいた。

決議案では高木ひろし議員(愛知県議会)が登壇し「本日の議論の成果を高く評価し2005年愛・地球博の圧倒的成功、地方分権の加速と成就に向けて、最大限の努力を協働で進めることを確認する。また、この東海州議会の開催自体、既存の県議会のあり方を大胆に改革し、分権時代にふさわしい地方議会を作り上げていく、歴史的な第1歩としなければならない。私たち東海州議会議員はその意義と責任を深く自覚し、行動することを誓う」と提案し採択された。

次回、第2回「東海州議会」は5月、三重県津市にて行われる予定。

[▲
top](#)

部落解放愛知県共闘会議29回総会を開催



11月16日(火)18:15から熱田区金山町にある「アビタホール」にて部落解放共闘会議29回総会が開催された。

高木ひろし県共闘会議・副議長(県議会議員)が開会あいさつを述べ、主催者あいさつとしては度会章仁氏(県共闘会議・議長)が「高校奨学金事業において成績条項の撤廃が実現したことは共闘会議運動の大きな成果です。署名活動など日頃のご協力ありがとうございます。」と感謝を述べた。

議長団は前野守孝氏(情報労連愛知県協議会・事務局長)、加藤賢治氏(部落解放同盟愛知県連合会)を選出。駆けつけた来賓の堀下猛氏(連合愛知・会長)、篠田公之氏(同和問題を考える企業連絡会・代表幹事)からはお祝いの言葉を頂いた。議事に入り28期活動報告と反省、29期活動方針、新年度役員が提案された。(課題別取り組み抜粋:狭山再審の戦い。部落解放・人権政策確立、部落解放行政推進の闘い。差別事件糾弾と人権確立に向けた取り組み。解放教育の推進・啓発活動の強化に向けて。部落解放運動の継承・発展と県共闘組織の強化)

総会后、講師に阿部道郎氏(日本労働組合総連合会・総合組織局長)をむかえ、「自分なりの人権についての考え方」をテーマに記念講演が行われた。

▲

県連政策調査会が児童虐待防止に関する学習会を開催

参加メンバー 民主党愛知県政策調査会・会長 前田雄吉(衆議院議員)を中心に
関係委員会所属の国会議員、県議会・名古屋市議会・一般市町議会議員

10月29日、11月6日、11月13日の3回講座にわたり、児童虐待防止に関する学習会を県連会議室で行った。

1回目の講師に長尾正崇氏(名古屋市立大学教授、医学博士)をむかえ「虐待死から見えること―被虐待児と親への支援―」をテーマに行われ2回目の講師には岩城正光氏(子どもの虐待防止ネットワーク・あいち理事長、弁護士)をむかえ「児童虐待防止のネットワーク(各関係機関との連携)」をテーマに行われた。講演後は意見交換となり、活発な議論を交わした。3回目の学習会は講師に山田光治氏(中央児童障害者相談センター・児童相談課長)をむかえ、「児童相談所の実務

からみた児童虐待取組みの現状と課題」をテーマに行われ、児童虐待の現状として事例を述べられた。今後の課題としては、「介入型のケースワークが拡大する中、家族の策動、混乱を静める対人援助技術が職員本人や家族を守ることになるが、こうした資質育成の職員研修システムが整っていない」「救出保護後あるいは在宅介入後の支援体制が整っておらず、問題解決の出口が見えない」などを挙げられた。参加者からは「貴重な現場の声が聞けた」「児童相談所以外でも出口ケアシステムが必要」などの意見が出た。



講演をする岩城正光氏(写真左)

民主党愛知県連・所属議員の活動報告

熱田区から愛知県議会へお送りを頂き一年半が経ちました。これまで多くの方々にお支えを頂き、さまざまな活動に取り組んでまいりました。

熱田区は名古屋市の中でも高齢化率が二番目に高く、私は昨年の選挙前から福祉の充実を訴えてまいりました。今年度は健康福祉委員会に所属し、介護福祉の充実や高齢者虐待への対策を強く要請致しました。また、総合防災対策特別委員会では神戸、淡路島で平成7年に起きた阪神・淡路大震災の被災者の方々から直接、災害の恐ろしさや地震がおきた時、どのよう



華地山 義章

愛知県議会議員

に行動すべきかを聞いてまいりました。愛知県においても、東海・東南海地震がいつきてもおかしくないと言われております。日頃から家族でどう行動し、どこへ避難するか等を前もって話し合い、防災に対して万全の備えを固めておくことが重要であると思っております。

最近、政治家に対する風当たりは強くなる一方ですが、今後も地域の皆さんとのふれあいを大事に、子供からお年寄り、障害者の方すべての人が安心・安全に暮らせるよう、若い発想をもって議会・地域活動に取り組む決意でございます。皆様のご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。



須原 章

名古屋市議会議員
(中村区)

住所:名古屋市 中村区

則武1-19-17

TEL 052(452)0080

中村区から愛知県議会へ送り出していただき四期、さらに名古屋市会へ転進して二期目を迎えています。この間24年余の政治活動の経験を生かしながら、議会、地域そして党活動に精一杯取り組むことができました。

政治の原点は「市民が主役」であり、みんな豊かで平和な暮らしができるよう、信頼され希望がもてる政治を確立することであると信じています。

今日の日本は、政治、経済をはじめ社会全体の新しい時代にあつた変革が求められています。

しかし、現在の日本では何でも国が決め、地方行政の隅々まで口を出す中央官僚集権国家であります。

いまこそ地方分権を推進し、本来の自治の主役である身近な自治体に権限や財源を与え、地域を再生させるためにも、私はみなさんの声を大切にしながら、地域に徹して更なる活動をしてまいりたいと思っております。

たいと思っております。

政権交代で民主党政権の実現とすばらしい名古屋づくりをめざして。

昨年、9月の稲沢市議会議員選挙で新人として議会に送り出していただき、1年が過ぎ、2年目を迎えました。この間、多くの皆さまにご指導、ご支援をいただきながら活動をしてきました。

現在、地方は市町村合併の流れの中にありますが、私たちの住む稲沢市も平成17年4月1日に祖父江町、平和町の一市二町の合併を控えています。合併後は、人口約13万7千人(稲沢市約10万人、祖父江町約2万3千人、平和町約1万4千人)、面積約79平方キロメートルの新「稲沢市」が誕生します。

稲沢市では、新図書館の建設や稲沢市民病院の新築移転問題、少子高齢化社会への対応など課題は、山積しています。

地方を取り巻く環境は、合併も含めて刻々と状況が変化しています。時代の流れを敏感に察知し、市民の皆さまに正確な情報を公開し、議員活動を進めていく決意であります。今後ともご指導、ご支援をいただきますように宜しくお願いします。



星野 俊次

稲沢市議会議員

住所:稲沢市 駅前

3-6-11-602

TEL 0587(32)9905

■ 幹事会報告 (11月13日抜粋)

■ 衆議院候補者(愛知10区)選考委員会と今後について

■ 行政区支部の設立について

(1)再提案

◇民主党名古屋東区支部 代表者＝梅村麻美子・名古屋市議

(2)新規提案

◇民主党名古屋市西区支部 代表者＝渡辺まさし・県議

◇ 同 中区支部 代表者＝則武勅仁・名古屋市議

■ 県連政治資金パーティー「2005年躍進の集い」について

◇日時 2005年1月17日(月)18:00～

◇会場 ウェスティンナゴヤ・キャッスル 2F「天守の間」

■ 2004年「人権週間」記念集会について

◇日時 12月7日(火)18:30～

◇会場 中区役所ホール(栄サンシティービルB1)

◇主催 世界人権宣言愛知県実行委員会
「連合愛知・県共闘会議・同企連・同宗連・民主党県連、他」
後援/愛知県・名古屋市

◇テーマ 報道と人権/講師 平川宗信 中京大学教授

◇要請 チケット制(無料)
国会議員2枚、県議1枚、名古屋市議1枚、他は積極的参加

■ その他

(1)党本部2005年度定期大会の召集について

◇日時 12月19日(日)～20日(月)

◇会場 ホテルオークラ福岡

◇代議員 国会議員全員
オブザーバーは各県連2名で11区総支部から

■ インフォメーション

■ 豊橋市議会議員補欠選挙結果

◇11月7日(日)投開票

民主党推薦候補「田中美奈子」15,449票、次次点 得票率31.74%

編集後記

新潟中越地震発生当日、私はエネルギー政策フォーラムに出席の為、新潟県にいた。震源からは離れていたが、人生で初体験の大きな揺れだった。東京へ帰路、「国民の生命と財産を守る」という国会議員の使命の第一義が頭に浮かんだ。

東海・東南海地震が切迫しているといわれる現在、都市部を直下型地震が直撃したときのことを考えると・・・

天災に対し、被害を最小限に食い止める為に個人レベルの総合防災対策の整備が急務だと痛感した。

広報委員 伴野 豊(衆議院議員)

インターネット・アドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~minshu7/>
e-mail:minshu@dream.ocn.ne.jp


[top](#)